



地域の現場から課題を読み取る (地域社会学・環境社会学)

こんな問題に取り組んでいます

本研究室では地域社会で実際に起きている環境・災害・まちづくりなどに関わる社会問題を調査し、そこから現代社会が抱える実践的課題を社会的な視点に立って明らかにしています(震災復興まちづくり・諫早湾干拓事業をめぐる地域紛争、都市の建築・開発紛争とまちづくり、公共交通と地域社会の持続性etc.)。

こんなことがわかってきました

東日本大震災の被災地では、復興まちづくりが行われております。その中で、「どのような支援の在り方が望まれているのか」と「実際にはどのように支援・復興計画が進められているのか」に食い違いも見られることもしばしばあります。このようなずれをなくすため、現場の声を聞きながら被災地で何が求められているのか明らかにしていく必要があります。

研究の成果はこんな分野に活かされます

研究成果は学術論文としてまとめられる以外にも、現場で実際に問題に関わっている住民の方や行政の方などとの対話を通じ、問題解決や今後のまちづくり全般に活かされます。

関連展示: 環境棟6階講義室

連絡先: 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻
清水研究室 rshimizu@k.u-tokyo.ac.jp



「まけないぞう」事業と
「支えあい」の社会学
(阪神・淡路大震災の時に神戸で
生まれた震災復興グッズ)

諫早湾干拓事業を
めぐる地域紛争と持
続可能な地域社会



島原鉄道存廃問題
からみる公共交通と
地域再生のあり方

福島県田村市での
まちづくり計画策定
(他研究室との共同研究)

